弦打校区　第2号
防災だより

発行日：令和4年8月20日
発行者：弦打校区自主防災会連絡会
高松市鶴市町356番地3
TEL　087-882-0285
共　催：弦打校区コミュニティ協議会（防災部会）
弦打地区社会福祉協議会

弦打校区の過去の災害について

■2004年の(平成16年)台風23号による被害

弦打校区は過去に大雨によって多数の大きな被害にあってきました。

近年では2004年(平成16年)の台風23号で甚大な被害を受けました。この時、香東川、本津川は堤体の高さまで増水し、河岸浸食が起き、弦打地区でも本津川の氾濫や水路の内水氾濫がいたるところで発生しました。

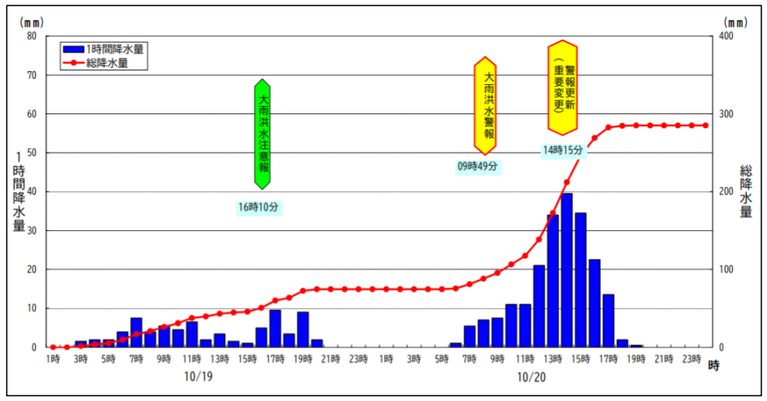
また、石清尾山中腹の道路や特別養護老人ホーム「エデンの丘」等の山沿いでは土砂崩れもありました。これらにより、道路の不通、水路・田畑への砂泥流入の被害も発生しました。御殿地区では山から流れ出た水が水路に流れ、香東川に流れ込むことができずに内水氾濫を起こし、約1mの浸水が発生し、多数の家が床上浸水し、立退き避難が間に合わず、2階に避難する人もいました。御殿地区以外でも多くの場所で内水氾濫が発生し、小坂地区などでも床上浸水の被害を受けた家もありました。

また、郷東町のアンダーパス、キナシ大林病院近くのアンダーパスも浸水して通行できず、本津川でも河岸浸食により堤体が崩れ、鬼無町では家や車が流されました。川に流れ込むことができない水路や川からの逆流により、広範囲で内水氾濫も起きました。

さらに、永代橋、阿弥陀橋のたもとでは氾濫水が勢いよく流れ、通行できませんでした。

この災害では、大勢の人たちが弦打コミュニティセンターに避難し、災害の後、ボランティアの皆さんにより浸水した家の片付けなどが行われました。

【高松市の被害】　人的被害　死者3人　住宅被害　床上浸水　1,752戸
床下浸水　5,223戸



高松市の降水状況
（2004年10月19日
0時～20日24時）

気象庁HPより

この時の雨量は10月19日の日降水量74.5mm、20日の日降水量210.5mm、2日間で合計285.0mmでした。高松市の洪水ハザードマップの香東川の計画規模の降雨の場合の浸水想定図は、流域の総雨量365mm/1日間です。また本津川では、流域の総雨量　321mm/1日間です。
このことから、計画規模の降雨以下でも甚大な被害が発生することも考えられます。

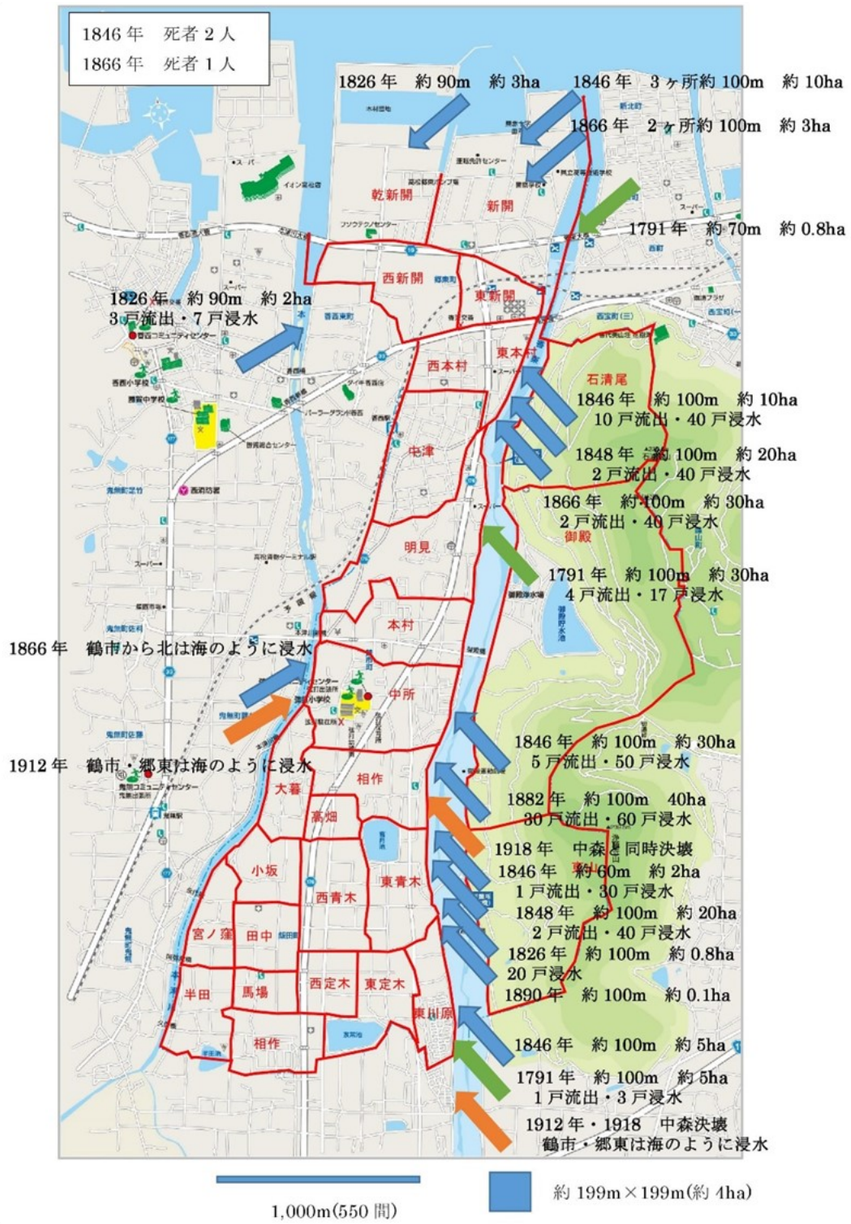
防災部会(自主防災会連絡会)は原則毎月第3月曜日に開催しています。防災について関心のある方は誰でも参加できます！

弦打校区の洪水の歴史

香東川は1630年代に西島八兵衛が香東川の付け替え工事を行って以来、幾度となく氾濫しています。本津川も同様です。

下図は、1791年(寛政3年)から1918年(大正7年)の香東川と本津川の決壊による浸水被害を地図にあらわしたものです。田畑の浸水被害だけでなく、建物の流出も80戸にのぼっています。死者は1846年(弘化2年)に2人、1866年(慶応2年)に1人です。人口のわかる資料から1920年(大正9年)で弦打村人口は3,007人です。このことから少ない人口でも多くの被害があったことが窺われます。現在の青木地区や、明見から中津にかけての地区は何度も決壊しており、この場所は、洪水浸水想定区域図の家屋倒壊等氾濫想定区域とほぼ一致しています。

弦打風土記に小字名で書かれている決壊場所と洪水被害



小字名、境界は「高松市城小字切図」(高松市所蔵)より引用下「讃岐高松の地名:小字は生きている」参照
※　明治の初めに地籍調査をしたときのものです。

香東川（郷東の堰を東から望む）

香東川西岸堤体（相作地区）

小坂地区より鬼無地区を望む

御殿地区

エデンの丘山沿い

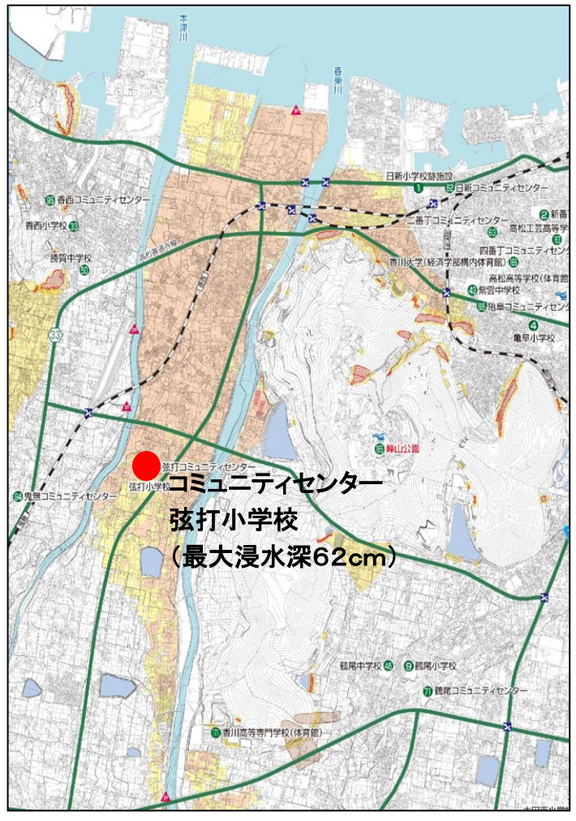
御殿地区（山沿い）

小坂地区（岩田神社北）

コミュニティセンターに
避難した住民

浸水被害で出されたゴミの片付け

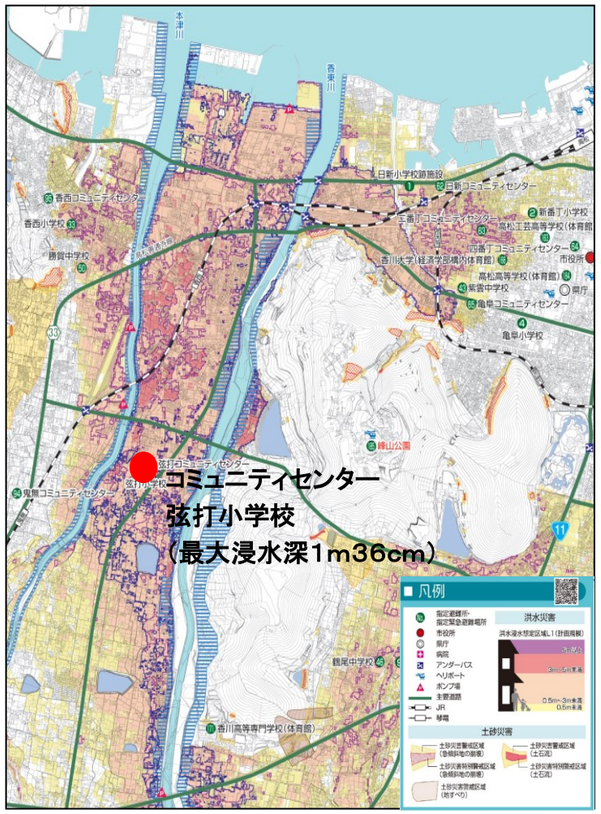
洪水ハザードマップ（香東川・本津川）



【L1（レベル1）（計画規模の降雨）】

レベル	前提となる降雨
L1（レベル1）（計画規模の降雨）	毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 香東川は1/100（1%）、本津川は1/50（2%）の降雨 香東川　流域の総雨量　365mm/1日間 本津川　流域の総雨量　321mm/1日間

計画規模の浸水想定区域図は、香東川は年超過率100年（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況を予測したものです。本津川は年超過率50年（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））に伴う洪水により氾濫した場合の浸水の状況を予測したものです。



【L2（レベル2）（想定最大規模の降雨）】

レベル	前提となる降雨
L2（レベル2）（想定最大規模の降雨）	考えられる最大規模の雨 香東川　流域の総雨量 702mm/1日間 本津川　流域の総雨量 727mm/1日間

想定最大規模降雨の降雨量は、それを設定する河川等における 降雨だけでなく、近隣の河川等における降雨が当該河川等でも同じように 発生すると考え、日本を降雨の特性が似ている 15 の地域に分け、それぞれの地域において観測された最大の降雨量により設定すること を基本としています。

弦打コミュニティセンター、弦打小学校は浸水想定区域内にあります。浸水想定区域外の安全な避難先を考えておきましょう。（指定避難所、親類・友人宅、ホテル等）

【参考　小豆島豪雨】

1976年（昭和51年）9月11日、小豆島の内海で日降水量790mm、8日～13日の総降雨量1,328mmの雨が降りました。引田では9月10日に日降水量369mm、8日～13日の総降雨量1,105mmの雨が降りました。（台風１７号）

この台風17号は、小豆島に年間降雨量に匹敵する豪雨をもたらしたのをはじめ、県下全域に猛威をふるい、 その被害は死者50名、重軽傷者127名、家屋の全壊274戸、半壊317戸、床上浸水4,477戸、床下浸水15,224戸にものぼりました。

１時間最大雨量では、2004年（平成16年）10月20日14時から15時の1時間に、香川県が前山で記録した126mmです。

地 区 防 災 計 画 の 説 明 会

令和4年6月4日に弦打校区地区防災計画説明会及び防災研修会を開催し、約50人の参加がありました。弦打校区の地理的特性から校区や指定避難所の危険度を説明し、避難のタイミング、避難経路、避難先について説明し、貴重なご意見をいただきました。

また、令和4年7月11日に郷東自治会役員会において、地区防災計画の説明会を開催し、意見交換を行いました。自治会エリアの危険度や避難のタイミング、避難経路、避難先について説明・協議し、貴重なご意見をいただきました。約15人の参加がありました。

弦打校区地区防災計画説明会

郷東自治会説明会

また、**各自治会での説明会の開催を予定していますので、希望の単位自主防災会、自治会は弦打校区自主防災会連絡会、もしくはコミュニティ協議会防災部会にご依頼ください。**